

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 農福連携について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>農福連携とは、障がい者が耕作や収穫等の農作業をすることを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みである。また、農業経営においても、新たな働き手の確保につながるなど明るい未来への可能性を感じさせる取り組みでもあり、近年、全国各地において自治体が関与し様々な形の取り組みが実施され、農福連携は確実に広がりを見せている。本市においても、その可能性は十分あり、現在すでに農福連携に取り組んでいる福祉団体や個人も複数見受けられる。</p> <p>今後、農福連携の裾野を広げ持続可能なものにしていくために、本市としてどのような取り組みをしていくべきかを</p>	<p>(1) 農・福の各々の現状と課題について</p>	<p>① 本市における、障がい者及びその家族の就労、雇用についての現状と課題をどのように捉えているか伺う。</p> <p>② ①において挙げられた課題の社会的背景と今後の展望を踏まえ、課題解消に向けて行政はどのような役割を果たしていくべきか伺う。</p> <p>③ ①及び②を踏まえた上で、障がい者の方々が農業分野で活躍するという取り組みを行うことで期待できる、良い効果と可能性はどのようなものと考えるか伺う。</p> <p>④ 本市の農業分野において、農業従事者の高齢化や次世代の担い手不足及び農地バンクの利用状況等の本市の農業分野の現状を踏まえ、今後の展望と課題をどのように捉えているか伺う。</p> <p>⑤ 障がい者や福祉団体が本市の農業分野で活躍することで期待できることは何か伺う。</p> <p>⑥ 農福連携を推進していくことは今後の本市の農業分野にどう影響をしていくと考えるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>質問し、本市の地域共生社会充実の一助としていく。</p> <p>* 今回の質問でいう障がい者は身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の障害がある方で継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける方とする。</p>	<p>(2) 農福連携を推進する上での行政の役割は</p> <p>(3) 農福連携を啓発、実践し推進していくために</p>	<p>① 市内の農業者や障がい福祉関係者から農福連携に関する相談が各課に寄せられた場合、どの様に対応し庁内連携していくのか伺う。</p> <p>② ①の対応の場合、農業者と障がい福祉関係者それぞれの不安を解消し、取り組みを始めやすくするために、各々に比重を置き、かつ整合性が取れる手引きが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 農福連携を推進してくため、農業者と障がい福祉関係者のマッチングは自治体の大きな役割であると考えますが、農福連携事業が実現するために、どの様なステップを踏んでいけば効果的であると考えるか伺う。</p> <p>④ 農福連携を推進していくためには、農業と福祉の双方に関する実務的な知見を持ち、現場においてそれぞれに対し、日々の実践的アドバイスやトラブルを解決できる農福ジョブコーチや、請負契約の内容の決定に向けて仲介できる農福連携コーディネーターなどの人材育成も重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>① 農福連携を本市において展開していくためには、「農福連携のメリットを客観的に示す」「様々な取り組み内容を分かりやすく情報発信する」等、関係者に対して農福事業に対する理解を深めていただく必要があり、啓発活動、相談体制構築の取り組みを官民一体となって進めていくべきと考えるが、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次、 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2 公民連携の今後について 【質問趣旨】</p> <p>本市が示す財政収支見通しや人口動態の推移等から、ますます厳しい行政経営が迫られると予想される中、サービスの質を高め、提供コストを劇的に減らす手法として、行政、市民、民間事業者が連携し、それぞれの特性と役割を十分に発揮する公民連携をさらに進めていく必要があると考える。指定管理者制度や市民活動団体とのコラボレーション等、本市においても現在公民連携に様々取り組んでいるが、今後はさらに施策を効果的かつ効率的に推進していくパートナーとしての民間活用が必要と考え、公民連携の現状と今後の在り方を問うものである。</p>	<p>(1) 公民連携の導入の現状と今後について</p> <p>(2) 民間活用を効果的かつ効率的に行っていくために</p>	<p>① 現在本市では公共施設運営における指定管理者制度や市民活動団体とのコラボレーションなど幾つかの公民連携に取り組んでいるが、現在の評価を伺う。</p> <p>② ①の評価を踏まえ、本市として今後民間活用を積極的に取り入れ、公民連携を推進していくことに対する方向性を伺う。</p> <p>③ 公民連携を進めて行く上での留意点は何か伺う。</p> <p>④ 公民連携とは、現在本市が抱えている行政課題の解決や市民サービス水準の向上、地域経済の循環や公的負担の抑制等、民間事業者等の創意工夫やアイデアを広く募集し、活かしていくとも考えるが、現在本市が民間活力を導入する場合の行政内の検討、決定プロセスはどのようなものであり、現状の導入過程に対する評価を伺う。</p> <p>⑤ 公民連携をさらに推進するにあたり、「民間事業者等からの提案を迅速に所管課へ繋ぐ体制の整備」と民間事業者等と市職員の双方が共通認識を持ち相互理解を深め、さらに当事者以外の市民に連携の公平性と健全性を示すため「全方位共有の公民連携推進ガイドライン」が必要であると考えが見解を伺う。</p> <p>① 公民連携をより効果的かつ効率的に推進していくためには、将来的に公民連携による事業実施の可能性がある施策や資産に関するリストがあると、民間事業者等からより良い知見やノウハウの提案が期待できると考えるが見解を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>② 公民連携をより効果的かつ効率的に推進していくためには、公民連携のパートナーと施策推進のフロー図等で当該施策の数値目標と理念を共有し、官民がパートナーとして同じ目線で協働し、施策推進に取り組んでいくべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 今後、公民連携をより効果的かつ効率的に推進し、取り組みの輪を広げていくために公民連携事業の成果を市民に公表し、行政のみが行う他の施策事業と同じく事業評価を受け、民間事業者等が公民連携事業にやりがいを持てる仕組みを構築していくべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。